

### 長期投資家の皆様へ

米国株式市場は連日史上最高値を更新する強気相場が続いて、これはトランプ政権の大型減税期待が先行して米国の株価水準を上方修正しているわけですが、PER（株価収益率）という指標でみる限りは大統領選前の16倍から18倍へと相対的な割高感是否めぬレベルへと急激に切り上がっており、不確実性の高いトランプ減税に市場は期待が行き過ぎているかもしれません。今回に限らず、足元の株価はトランプ政策の期待と現実そして失望を繰り返しながら、荒っぽく動くことを想定しておくべきでありましょう。

とは言え、米国経済自体は順調に成長していることをデータは示しています。米景気拡大→米利上げ→新興国市場からの資金流出のシナリオがずっと懸念されて来ましたが、現状では資源価格が強含みなこともあり、世界の投資マネーは新興国流入が再開していて、グローバルに株式市場は賑わいを高めています。米経済の強さがこの先世界経済全体を牽引することへの期待を、資金の流れが示していると言えましょう。

但しこうした政策期待の楽観相場では、総じて市況に左右されるセクター・銘柄が値動きを先導し、本来在るべき市場の価格決定機能を歪めがちでもあり、本質的事業価値を前提とする本格的長期投資家にとっては必ずしも心地良い環境とは言えないのも事実です。

政治動向や政策期待如何で値動きする現状の如き環境では、日々一喜一憂せず、専ら冷静で健全な市場への回帰を待って、どっしり身構えつつ慎重さを失わぬことが肝要です。徹底した長期投資を貫く「セゾン号」の運用スタンスは、それをことごとく実践しています。世界経済は米国を主役に、日本も欧州も実体景気は底入れして追い風環境です。慌てず進んでまいりましょう。

中野 晴啓

### 今月の市場動向

#### 世界の株式市場についての概況

株式市場は、上昇しました。

序盤、米国や中国で製造業の景況感を示す指数の上昇が確認されるなかで、米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明で、利上げを急がない姿勢が示され安心感が広がって堅調な展開となり、その後はトランプ米国大統領が金融規制改革法の見直しを行う大統領令に署名したことを受けて金融機関の収益拡大への期待が高まり上昇しました。

中盤にかけては、フランスの大統領選挙を巡る不安が高まり軟調に推移する局面もあったものの、トランプ米国大統領が大規模な減税を示唆する発言を行ったことを受けて米国の景気拡大への期待が高まったほか、中国の貿易統計が良好な結果となり安心感が広がったことから上昇基調が継続し、その後は米国で小売売上高や物価の上昇が確認され、景気の先行きに対する明るい見方が一段と強まったことを受けて、一段と上昇しました。

終盤にかけても、ユーロ圏でも景気の先行きに対する明るい見方が広がったことなどを受けて上昇基調が継続しましたが、その後はトランプ政権から税制改革案の詳細が発表されず、不透明感が強まったことから、力強さを欠く展開となりました。

#### 2 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY 原油先物（WTI／直近限月）／1 バレル	54.01 ドル	+2.27%
NY 金先物（中心限月）／1 トロイオンス	1253.9 ドル	+3.51%

トランプ政権の規制緩和策や減税策に対する期待が高まったことを受けて、株式市場は堅調な展開となりましたが、市場の関心はこれらの政策の実現可能性に移ってきています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 2 月度の市場動向について

### 米国株式

米国の株式市場は、上昇しました。

序盤、製造業の景況感を示す指数の一段の上昇が確認されたほか、米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明で利上げを急ぐ姿勢が示されず、安心感が広がって堅調な展開となり、その後発表された雇用統計は、平均時給の伸びが予想を下回るなど力強さに欠ける内容であったものの、トランプ米国大統領が金融規制改革法の見直しを行う大統領令に署名したことを受けて金融機関の収益拡大への期待が高まり、大きく上昇しました。

中盤にかけては、トランプ米国大統領が、米航空大手首脳らを招いた会合で 2～3 週間以内に税に関する驚くべき発表をすると述べたことから、減税による米国の景気拡大への期待が高まって上昇し、その後はフリン大統領補佐官が就任前にロシアへの経済制裁を巡る不適切な協議を行ったことを理由として辞任し、不安が広がる局面もあったものの、小売売上高や物価指数の上昇が確認されて景気加速への期待が高まったことを受けて、一段と上昇しました。

終盤にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録の公表を経て、早期に利上げが行われるとの見方が後退したこともあり、上昇基調が継続したものの、その後はトランプ政権から税制改革案の詳細が発表されず不透明感が強まったことや地区連銀総裁の発言を受けて早期利上げ観測が高まったから、力強さを欠く展開となりました。

### 2 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	20812.24	+4.77%
S&P500（米ドル）	2363.64	+3.72%
ナスダック総合指数（米ドル）	5825.438	+3.75%

2008年から2009年にかけての金融危機への反省を受けて成立した金融機関が過剰なリスクを取ることを制限する金融規制改革法（ドット・フランク法）の見直しが行われることになり、金融機関の収益拡大への期待が高まっていますが、一部では不安も広がっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### 欧州株式

欧州の株式市場は、上昇しました。

序盤は、世界的に景気の先行きに対する明るい見方が広がるなかで堅調な展開となりましたが、その後はフランスの大統領選挙に向けて国民戦線のルペン党首が欧州連合（EU）からの離脱を含む公約を発表し、当選した場合の混乱への警戒が広がって反落に転じました。

中盤にかけては、米国で減税による景気拡大期待が高まったことを受けて、上昇基調となり、その後は米国で早期利上げ観測が高まってドルが上昇し、ユーロが下落したこともあって、一段と上昇する局面もありましたが、中盤には、再びフランスの大統領選挙を巡る不安が高まったことや、イギリスの小売売上高が予想外に落ち込み景気の先行きへの警戒が強まったことを受けて、力強さを欠く展開となりました。

終盤にかけては、ユーロ圏で企業の景況感を示す指数の改善が確認されて上昇する局面もあったものの、政治不安を背景に先行きへの不透明感は根強く、その後は力強さを欠く展開となりました。

### 2 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	11834.41	+2.59%
仏 CAC 指数（ユーロ）	4858.58	+2.31%
英 FT100 指数（英ポンド）	7263.44	+2.31%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	8545.81	+3.06%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	125.22	+2.65%

4月に第一回目の投票が行われるフランスの大統領選挙では、反グローバリズム、反欧州連合（EU）の主張を掲げるルペン候補が一定の支持を集めており、昨年英国で行われた欧州連合（EU）離脱を巡る国民投票で、同様の主張が勝利を収めたこともあり、ルペン候補が当選し、欧州連合（EU）の枠組みが揺らぐことへの警戒が広がっています。

### 日本株式

国内の株式市場は、上昇しました。

前月末にトランプ米国大統領が日本の金融緩和策を円安誘導策として批判し、為替市場で円高となったことを受けて、序盤から軟調な展開となり、その後も欧州で政治不安が高まるなかで、一段と円高が進行して軟調な展開が継続しました。

中盤にかけては、米国の貿易統計で 2016 年の日本に対する貿易赤字が、中国に次いで 2 番目の規模となったことが明らかになったことを受けて、トランプ大統領が貿易不均衡の是正を強く迫るとの懸念が高まる局面もあったものの、トランプ米国大統領が大規模な減税を示唆する発言を行い、米国で景気の先行きに対する明るい見方が拡がってリスク選好が強まると共に、為替市場でドルが上昇して円安となったことから、大きく上昇しました。

中盤には 10-12 月期の GDP が個人消費の低迷などを受けて予想を下回る伸びに留まったものの、日米首脳会談で、貿易不均衡や通貨政策が大きく取り上げられることがなかったことから安心感が拡がって堅調な展開となりましたが、その後は東芝が内部統制の問題を理由として決算を延期したことを受けて不安が高まったこともあり、やや軟調な展開となりました。

終盤には、欧州で景況感が改善されたことを受けて先行きへの明るい見方が拡がり、上昇する局面もありましたが、その後は米国で減税策への期待が後退したことを受けて為替市場で円高となったことから軟調な展開となりました。

### 2 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数 (円)	19118.99	+0.41%
TOPIX[東証株価指数]	1535.32	+0.90%
MSCI Japan 指数 (円)	919.23	+0.47%

10-12 月期の GDP は輸出の伸びが拡大したことを受けて 4 四半期連続のプラス成長となりましたが、トランプ米国大統領が、貿易不均衡の解消を重視する姿勢を示していることから、先行きには警戒が拡がっています。

### 太平洋株式 (日本を除く)

太平洋地域 (日本を除く) の株式市場は、上昇しました。

序盤、オーストラリアの貿易統計で、資源価格の上昇を背景に輸出額が一段と増加したことが確認され、先行きへの明るい見方が拡がり上昇基調となりましたが、その後は、オーストラリアの小売売上が予想外に前月比で減少したことを受けて、先行きへの明るい見方が後退してやや軟調な展開となりました。

中盤にかけては、トランプ米国大統領が大規模な減税を示唆したことを受けて、米国で景気の先行きに対する明るい見方が拡がってリスク選好が強まったほか、中国の貿易統計で輸出が予想以上に拡大したことが確認され、中国経済の先行きへの明るい見方が拡がるなかで鉄鉱石などの資源価格が上昇したことを受けて、上昇しました。

中盤には、米国で物価が上昇したことを背景に利上げ観測が高まったものの、米国を中心に景気の先行きに対する明るい見方が維持され、リスク選好が強まっていることを背景に上昇基調が継続しました。

終盤にかけては、米連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事録の公表を経て、米国の利上げ観測が後退し一段と上昇する局面もあったものの、その後はトランプ政権から税制改革案の詳細が発表されず、不透明感が強まって米国景気の先行きに対する明るい見方が後退したことを受けて、軟調な展開となりました。

### 2 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数 (米ドル)	1271.74	+2.63%
S&P/ASX200 指数 (豪ドル)	5712.221	+1.62%
香港ハンセン指数 (香港ドル)	23740.73	+1.63%
シンガポール ST 指数 (シンガポールドル)	3096.61	+1.63%

低迷していた資源価格が上昇基調となったことを受けて、オーストラリアでは輸出額が 2 ヶ月連続で大きく増加し、先行きに対する明るい見方が拡がっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



## 2 月度の市場動向について

### 新興国株式

新興国の株式市場は、一部の国を除いて上昇しました。

序盤、米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明に早期の利上げを示唆する文言がなく、安心感が広がって上昇基調となり、その後は欧州で政治不安が広がりやや軟調に推移する局面もあったものの、中盤にかけてはトランプ米国大統領が大規模な減税を示唆したことを受けて米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がり、リスク選好が強まったほか、中国の貿易統計で輸出が予想以上に拡大したことを受けて中国経済の先行きに対する明るい見方が広がったことから、上昇基調となりました。

中盤には、米国で物価が予想以上に上昇していることが確認され、利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まったほか、中国やインドでも物価の上昇が確認されたものの、米国を中心に景気の先行きに対する明るい見方が広がっていることから、上昇基調が継続しました。

終盤にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録の公表を経て、米国の利上げ観測が後退して一段と上昇する局面もあったものの、その後はトランプ政権から税制改革案の詳細が発表されず、不透明感が強まって米国景気の先行きに対する明るい見方が後退したことや再び米国で利上げ時期が前倒しされるとの見方が強まったことを受けて反落に転じました。

### 2 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数（米ドル）	936.37	+2.98%
ブラジルボベスパ指数（ブラジルレアル）	66662.10	+3.08%
中国上海指数（中国元）	3241.733	+2.61%
韓国総合株価指数（韓国ウォン）	2091.64	+1.16%
台湾加権指数（台湾ドル）	9750.47	+3.20%
ロシア RTS 指数（米ドル）	1099.46	-5.56%
S&P/BSE SENSEX 指数（インドルピー）	28743.32	+3.93%
南アフリカ全株指数（南アフリカランド）	51146.05	-3.11%

近年、中国やインドでは、物価の伸びが抑制されていることから比較的緩やかな金融政策が採用されてきており、景気を下支えしてきましたが、資源価格が上昇していることを受けて、物価の伸びが拡大する兆しが見られることから、一部で金融引締めへの警戒が高まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### 世界の債券市場についての概況

国債市場は、米国で物価上昇観測が高まったことを受けて軟調に推移する局面もあったものの、米国ではトランプ新政権が打ち出す政策の全貌が明らかになっておらず、欧州ではフランスの大統領選挙などを控えて政治不安が高まっていて、先行きへの不透明感が高まっていることから、安全資産としての需要も根強く、堅調な展開となりました。

### 米国債券市場（国債）

米国の国債市場は、上昇しました。

序盤に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）の声明では、利上げを急ぐ姿勢が示されず、雇用統計でも平均時給の伸びが予想を下回ったことから底堅い展開となり、その後は欧州での政治不安の高まりを受けて安全資産としての需要が高まり上昇しました。中盤にかけては、トランプ大統領が大規模な減税の実施を示唆したことを受けて、景気と財政赤字の拡大観測が高まって下落し、その後は生産者物価指数と消費者物価指数の伸びが予想を上回ったことを受けて一段と下落する局面もありましたが、米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事録の公表を受けて3月に利上げが行われるとの見方が高まらなかったことや、トランプ政権から税制改革案の詳細が発表されず不透明感が強まったことから、終盤には反発に転じました。

### 2 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	2.390%付近	-0.063%

### 欧州債券市場（国債）

ユーロ圏では、主要国と周縁国の国債が共に上昇しました。

前半、フランスの大統領選挙を巡って不安が高まったことやギリシャへの支援を巡る不透明感が高まったことを受けて、安全資産としての需要が高まってドイツ国債が上昇し、フランス国債や周縁国の国債が下落する局面もありましたが、中盤にはギリシャ支援を巡る不透明感が後退したことや、欧州中央銀行（ECB）理事会の議事録の公表を受けて、欧州中央銀行（ECB）による周縁国の国債の購入拡大への期待が高まったことを受けてドイツ国債が下落基調となり、フランス国債や周縁国の国債が上昇基調となりました。終盤にかけては、政治リスクへの懸念が高まったことを受けて、再びドイツ国債が上昇し、フランス国債や周縁国の国債が下落基調となる局面もありましたが、その後はフランスの大統領選挙を巡る懸念が後退するなかで、米国で減税への期待が後退して米国債が上昇したことから、フランスを含む主要国の国債と周縁国の国債が上昇しました。

### 2 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	0.208%付近	-0.228%

### 日本債券市場（国債）

日本の国債市場は、上昇しました。

前月末にトランプ米国大統領が日本の金融緩和策を円安誘導策として批判したことを受けて、金融緩和策の拡大観測が後退して下落基調となりましたが、中盤にかけては、日米首脳会談で、貿易不均衡や通貨政策が大きく取り上げられることがないとの見通しが広がって反発に転じました。中盤以降は、米国債が物価上昇観測の高まりを背景に下落したことなどを受けて軟調に推移する局面もあったものの、終盤には日本銀行が国債市場の下支えを積極的に行う姿勢を示したことを受けて、上昇しました。

### 2 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	0.056%付近	-0.031%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## 2 月度の市場動向について

### 世界の為替市場についての概況

ドルは、トランプ大統領が大規模な減税策の実施を示唆したことを受けて、米国景気の先行きに対する明るい見方が拡がり、堅調な展開となりました。一方、ユーロは、フランスの大統領選挙などを控え、政治リスクへの懸念が高まっており、先行きへの不透明感が広がっていることを受けて下落しました。

円は、トランプ政権が米国との貿易不均衡の解消の為に、円安の是正を迫るとの懸念から金融緩和観測が後退して堅調な展開となりました。

### ドル・円

円はドルに対して、ほぼ変わらずとなりました。

序盤、米連邦公開市場委員会 (FOMC) の声明で利上げを急ぐ姿勢が示されず、雇用統計も力強さにかける内容であったことからドルが軟調な展開となり円高基調となったものの、中盤にかけては、トランプ米国大統領が大規模な減税策の実施を示唆したことを受けて米国景気の先行きに対する明るい見方が拡がってドルが上昇して円安となり、その後も米国で物価が上昇したことを背景に利上げ観測が高まったことを受けてドルが一段と上昇したことから、円安基調が継続しました。終盤にかけては、米連邦公開市場委員会 (FOMC) の議事録の公表を受けて3月に利上げが行われるとの見方が高まらなかったことや減税への期待が後退したことから、ドルはやや軟調な展開となり、円高基調となりました。

### ユーロ・円

円はユーロに対して、上昇しました。

序盤、フランスの大統領選挙に向けて国民戦線のルペン党首が欧州連合 (EU) からの離脱を含む公約を発表し、当選した場合の混乱への警戒が拡がってユーロが下落し、円高となりました。中盤にかけては、落ち着きを取り戻してユーロが反発し円安となる局面もあったものの、中盤以降は、欧州中央銀行 (ECB) 理事会議事録の公表を受けてユーロ圏で金融緩和の長期化観測が拡がったほか、政治リスクを巡る懸念が根強いことから、ユーロが軟調な展開となる一方、円はドルが下落したこともあって堅調な展開が続き、円高基調となりました。

### 2 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	112.78	-0.06% (円高)
円／ユーロ	119.28	-2.12% (円高)
ユーロ／ドル	1.0577	-2.03% (ユーロ安)

\*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」  
運用概況 (2017年2月28日現在)

## 今月のマーケットと投資スタンス

【株式市場】米国で減税や規制緩和への期待が高まったことを受けて、景気や企業業績の改善への期待が高まり上昇。

【債券市場】物価の上昇観測を背景に軟調に推移する局面もあったものの、先行きへの不透明感は根強く堅調な展開。

【為替市場】ドルが堅調な展開となった一方でユーロが下落。円は堅調な展開となり、対ユーロで円高、対ドルではほぼ変わらず。

【投資スタンス】今月は、定期積立プランでのご購入などにより皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、比率が低下していた債券ファンドへの投資を行いました。

## ファンドマネジャーからの一言

今月は、日本株式に投資するファンドが下落したものの、国外に投資する全ての株式ファンドと全ての債券ファンドが上昇し、投資先のファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドル、対ユーロで円高となり基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 2月度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

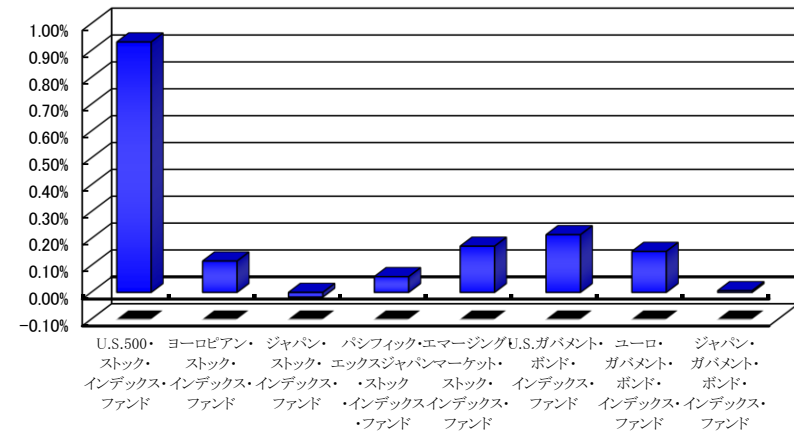
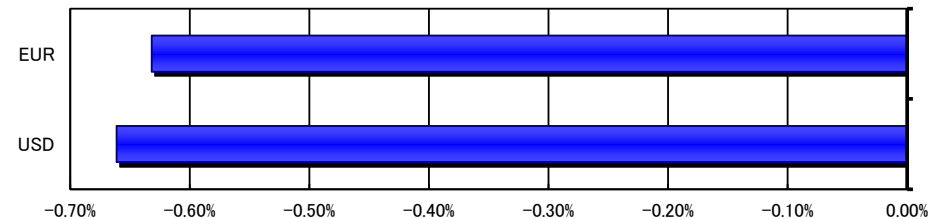


図2 2月度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



※上記の表は、投資家の皆様へファンド基準価額の変動要因を簡潔に説明するため2017年2月28日現在の投資比率に基づき、ファンド及び為替レートの変動の影響を図示したものであり、実際の影響度合いとは異なります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド  
2 月度運用レポート

## I : ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2017年2月28日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	13,266円
純資産総額	1296.2億円

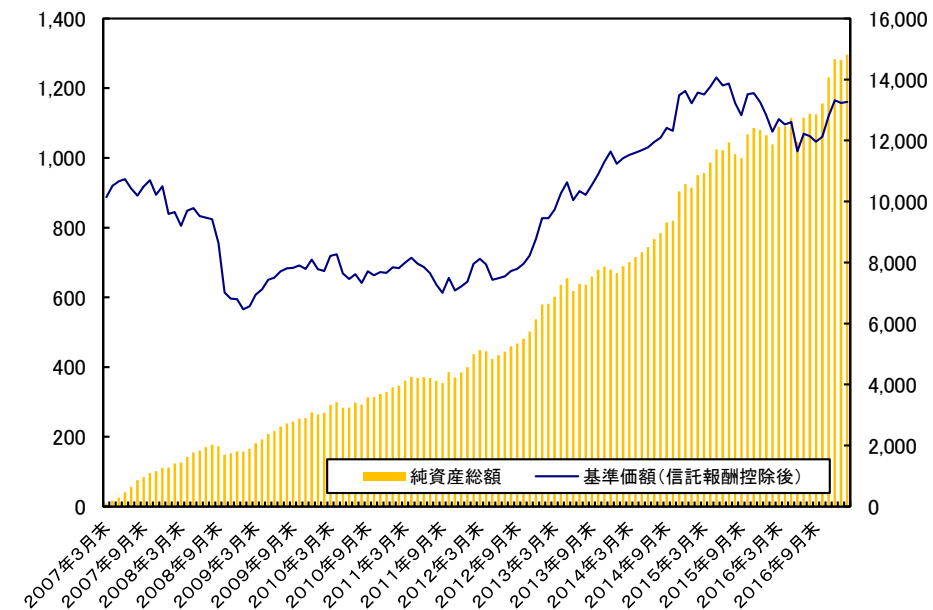
設定来騰落率	32.66%
過去1ヶ月間の騰落率	0.29%
過去6ヶ月間の騰落率	9.28%
過去1年間の騰落率	7.91%
過去3年間の騰落率	16.16%

\*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2017年2月28日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	6,275	2009年1月26日
設定来高値	14,107	2015年6月4日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 2 月度運用レポート

販売用資料  
2017.3.3

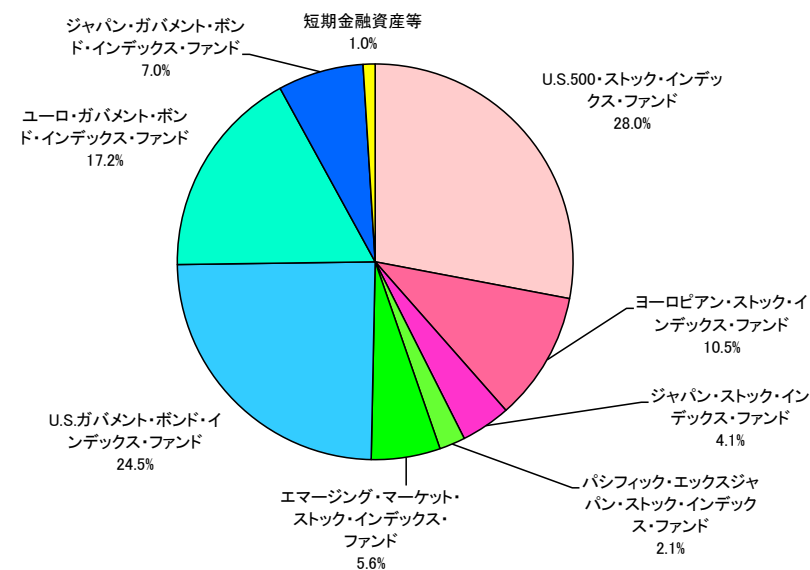
### Ⅱ：ファンド資産の状況（2017年2月28日現在）

#### 投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
U.S. 500・ストック・インデックス・ファンド	28.0%
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	10.5%
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	4.1%
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	2.1%
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	5.6%
U.S. ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	24.5%
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	17.2%
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	7.0%
短期金融資産等	1.0%
合計	100.0%

※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

資産配分状況(2017年2月28日現在)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 2 月度運用レポート

販売用資料  
2017.3.3

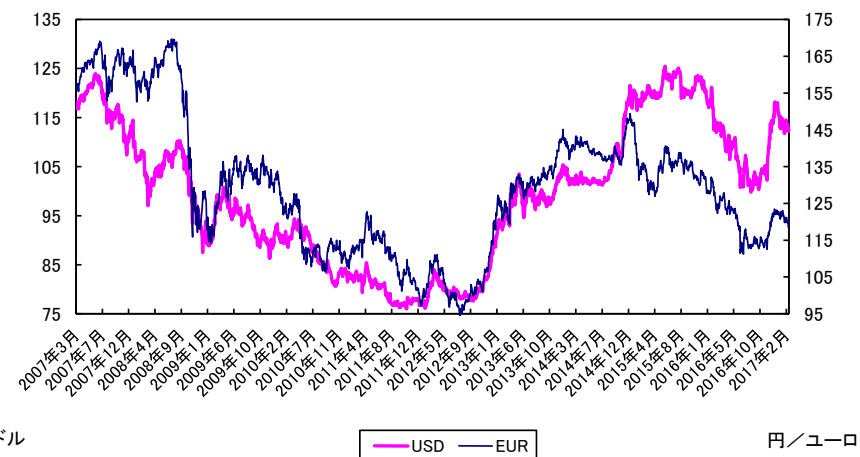
### Ⅲ：為替レートの推移

#### 設定時からの為替レート

日付	円／ドル	円／ユーロ
2007年3月15日	117.27	155.09
2007年12月28日	114.15	166.66
2008年12月30日	91.03	127.96
2009年12月30日	92.10	132.00
2010年12月30日	81.49	107.90
2011年12月30日	77.74	100.71
2012年12月28日	86.58	114.71
2013年12月30日	105.39	145.05
2014年12月30日	120.55	146.54
2015年12月30日	120.61	131.77
2016年1月29日	120.87	132.17
2016年2月29日	113.62	124.11
2016年3月31日	112.68	127.70
2016年4月28日	109.75	124.12
2016年5月31日	110.94	123.65
2016年6月30日	102.91	114.39
2016年7月29日	104.42	115.67
2016年8月31日	103.18	114.95
2016年9月30日	101.12	113.36
2016年10月31日	104.86	115.05
2016年11月30日	112.42	119.70
2016年12月30日	116.49	122.70
2017年1月31日	113.81	121.75
2017年2月28日	112.56	118.98
変化率（設定来）	-4.02%	-23.28%
変化率（2月度）	-1.10%	-2.28%

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

#### 2007年3月15日から2017年2月28日までの為替レートの推移



※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

① 主に株式へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2017 年 2 月 28 日現在の値

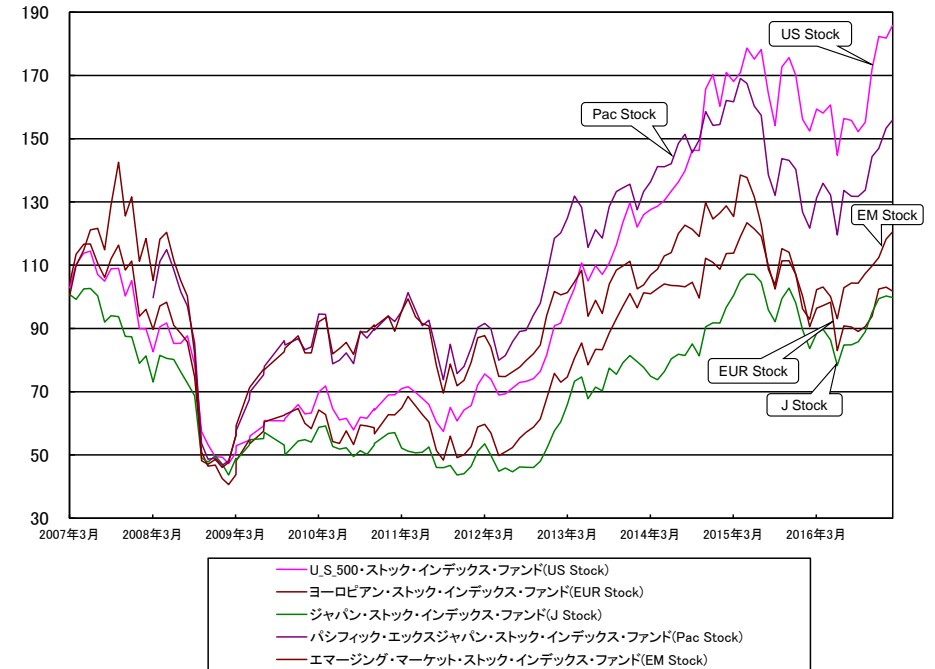
U. S. 500・ストック・インデックス・ファンド	185.8
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	101.8
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	99.8
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	155.9
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	120.5

2017 年 1 月 31 日の値を 100 とした場合の 2017 年 2 月 28 日現在の値（2 月の動き）

U. S. 500・ストック・インデックス・ファンド	102.2
ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	98.8
ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	99.6
パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	101.6
エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	101.9

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

組入れ開始以来の投資先株式ファンドの値の推移（円貨建て）



エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド、ジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドは 2008 年 3 月 14 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 2 月度運用レポート

販売用資料  
2017.3.3

### ② 主に債券へ投資するファンドの値

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2017 年 2 月 28 日現在の値

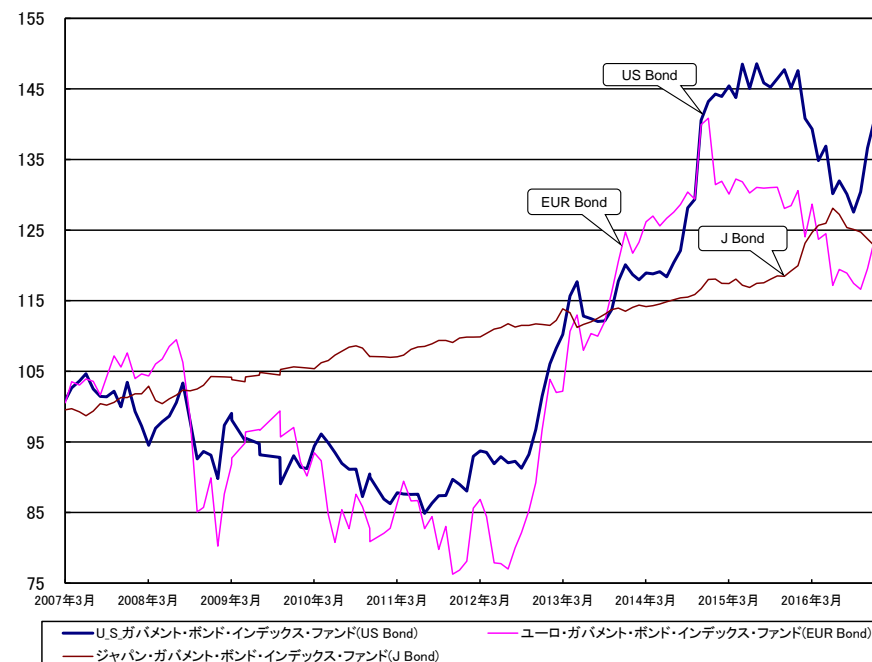
U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	137.6
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	118.3
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	122.3

2017 年 1 月 31 日の値を 100 とした場合の 2017 年 2 月 28 日現在の値（2 月の動き）

U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	99.8
ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	98.6
ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	100.1

※指数は小数点以下第 2 位を四捨五入

### 組入れ開始以来の投資先債券ファンドの値の推移（円貨建て）



ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドは 2007 年 3 月 23 日、それ以外のファンドは 2007 年 3 月 19 日の値を 100 として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。



## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 2 月度運用レポート

販売用資料  
2017.3.3

### ■ファンドの特色

- ①幅広いリスク分散  
世界 30 ヶ国以上の株式と 10 ヶ国以上の債券に分散投資。だからリスクを分散して安定的な成果が期待できます。
- ②国内最低水準の手数料  
販売手数料ゼロ。購入時に余分なコストのかからないノーロードファンドです。同じタイプのファンドの中では国内最低水準の手数料を目指しました。
- ③バンガード・グループのファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ  
バンガード・グループは世界最大級の投信会社です。また、ローコスト・ハイクオリティ運用のリーダーとして認められています。投資家の利益を守るため、長期投資の重要性を訴え続けています。
- ④長期投資の為のファンド  
長期のパフォーマンスを最優先するため、分配金は全て再投資します。

### ■投資方針

- ①株式と債券の投資比率は、原則として 50 : 50 とします。
  - ②各地域の株式及び債券の時価総額を勘案し、投資先ファンドへの投資配分を決定いたします。配分比率は適宜見直しを行っていきます。
  - ③原則として、為替ヘッジは行ないません。
- ※資金動向、市場動向ならびに信託財産の規模等によっては上記の運用が出来ないこともあります。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### ■組入れファンドについて

- ①U.S.500・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：米国の大型株式に投資します。  
運用方針：S&P500 Index に連動する投資成果を目指します。
- ②ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：欧州先進国の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Europe Index に連動する投資成果を目指します。
- ③ジャパン・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：日本の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Japan Index に連動する投資成果を目指します。
- ④パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：日本を除くアジア太平洋地域の先進国の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Pacific ex-Japan Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑤エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド  
主要投資対象：新興諸国の株式に投資します。  
運用方針：MSCI Emerging Markets Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑥U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド  
主要投資対象：米国の国債および米国の政府系機関が保証発行する投資適格債券等に投資します。  
運用方針：Bloomberg Barclays U.S. Government Float Adjusted Bond Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑦ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド  
主要投資対象：EMU(経済通貨同盟)に加盟するユーロ建ての国債等に投資します。  
運用方針：Bloomberg Barclays Euro Government Float Adjusted Bond Index に連動する投資成果を目指します。
- ⑧ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド  
主要投資対象：日本国債および日本の政府系機関が保証発行する投資適格債券等に投資します。  
運用方針：Bloomberg Barclays Japan Government Float Adjusted Bond Index に連動する投資成果を目指します。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 2 月度運用レポート

### ■お申込みメモ

- お申込受付日：原則として、毎営業日にお申込を受付けます。ただし、ニューヨーク、アイルランドの銀行休業日、ニューヨークの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- お申込受付時間：原則として、午後 3 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- お申込価額：取得申込日の翌々営業日の基準価額  
(当初元本は、1 口あたり 1 円)
- お申込単位：1 万円以上、1 円単位  
定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位
- お申込手数料：ありません
- ご解約受付日：原則として、毎営業日にご解約の請求を受付けます。ただし、ニューヨーク、アイルランドの銀行休業日、ニューヨークの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- ご解約請求受付時間：原則として、午後 3 時までに受付けた解約請求を当日の請求とします。
- ご解約単位：1 口以上、1 口単位 または 1 円以上、1 円単位
- 解約代金のお支払い：原則として、解約請求受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
- 解約価額：解約請求受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
- 信託財産留保額：0.1%
- 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
- 信託期間：無期限
- 決算日：毎年 1 月 2 月 1 0 日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
- 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびにご解約時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。  
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

## セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 2 月度運用レポート

### ■当ファンドに係る手数料等について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1% の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5076% (税抜 0.47%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.69% ± 0.03% (概算) となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：

監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：

- ・投資対象国、市況の変化、あるいは制度の変更等を考慮し、バンガードが定めることにより、購入時及び解約時にファンド財産維持手数料がかかることがあります。
- ・ファンド財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金(解約)した際に、ファンド自身に、直接支払われる留保金であり、販売手数料や解約手数料とは異なります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インデックスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口 : 03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。